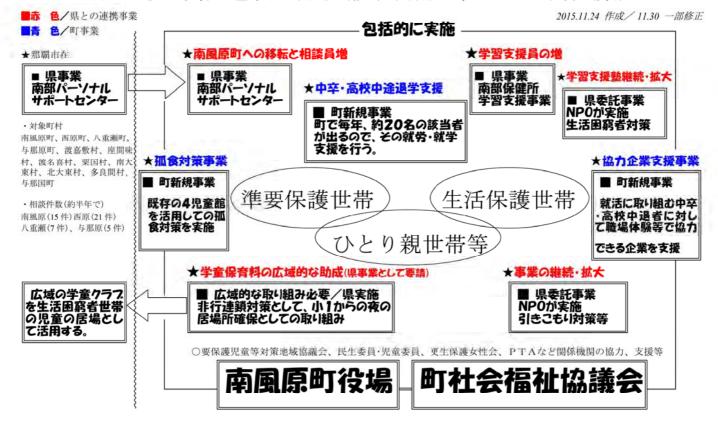
8. 南風原町 提出資料

#### 子どもの貧困連鎖の打破(仮称)南風原モデル事業(案)



## ~ 南風原町からの提案 ~

できることを、できるところから、できるだけ。

(沖縄の特殊事情から)子どもの貧困連鎖を打破するには・・・・・・

- ① 児童・生徒の夜の居場所確保(特に「小1の壁」打破)
- ② 児童・生徒の孤食支援
- ③ 児童の初期非行の撲滅
- ④ 非行の地域集団化の撲滅(広域的な取組が必要)
- (5) 中卒・高校中途退学者の就学、就労支援
- ⑥ 生活困窮世帯等への学習支援
- ⑦ 親の養育支援
- ⑧ 引きこもり、不登校児への支援

これらを包括的に、南風原モデル事業で展開する。

# 子どもの貧困対策について(南風原町)



#### 1. 現状で取り組めている事

- ① 民生部こども課内に相談員配置(社会福祉士2人/職員1、嘱託1)
  - 1) 0歳児~高校生まで、子どもに関する事に対応
  - 2)必要に応じ「町要保護児童等対策地域協議会」で対応
  - 3) 積極的に学校、町社協や関係機関等との連携

(警察、民生委員、学童クラス、保育園など)

- ②「小1の壁」対策として生活困窮世帯に対する学童クラブ保 育料の補助(上限5千円/一括交付金活用) + 子算等は2ページも下参照
- 2. 取り組めていない事(課題)/3ページ【資料②】参照
  - ① 中卒者及び高校中退者への対応
  - ② ひきこもり対策
  - ③ 少年非行防止に向けた「小1の壁」の完全な対策

# 3. 課題が引き起こす問題

- ① 幼少期からの非行(不登校、学力低下)
- ② 少年非行の地域連鎖
- ③ 非行少年の低い更生率
- 4 生活困窮の連鎖 ★保護者の背景/① 高い離婚率、② 低い所得

## 4. 課題解決に向けて

- ①「小1の壁」対象児童の居場所(学童クラス)の確保
- ② 居場所(学童クラブ)入所に関し、広域的な生活困窮世帯への 保育料補助
- ③ 中卒、 高校中退者への学習、 就労支援

<sup>●</sup>南風原町での「学童クラブ保育料補助」事業費状況/平成27年度より実施 ・ひとり親世帯で非課税世帯に対し、学童クラブ保育料5千円/月を補助 ・平成27年度の該当者/46児童 ・平成28年度予算要求額/46児童×5千円×12月=2,760,000円



	①教育委員会で対 応	「 <b>小1の壁」 不登杉</b> 小1~小3を範囲	に引きこもり	中卒、高校中退 *この段階で情報量が極端に少なくなり、対応が不十分まる	
①こども課で対応 ②保育園等で対応 ③民生委員・児童委員で対応 ④その他、さまざまな対応が 行われている。		①教育委員会で対応 ②こども課で対応 ③学童クラブで対応 ④その他、さまざまな対応が行われている。	①教育委員会で対応 ②こども課で対応 ③その他、さまざま な対応が行われている		
○児童館(幼児クラブ等の支援)		○こども課で、放課後居場所づくりとして	4つの児童館で対応	○児童館	
保育園	幼稚園	小学校	中学校	高校	一 船